天草地域医療センター広報誌 あまいせ便り

2016. August
vol. 8
【編集・発行】
天草地域
医療センター
新聞広報委員会

基本理念

一、私たちは〝地域医療支援病院〟として、医師会会員ならびに各医療機関との医療連携をもとに、高い医療レベルを堅持、地域医療の向上に貢献します

二、私たちは患者の立場を尊重し、その信頼と期待に応え、誠実に〝心ある医療〟を心がけます

三、私たちは、変革する医療情勢に対処しながら、地域住民の福祉・保健医療サービスの確立に努め、医療センター内外に積極的に活動します

四、私たちは、職員としての〝誇りと責任〟を自覚し、つねに自己研鑽を重ね、互いに協力して、医療センターの発展に努めます

医の心

患者さんの悩み、苦しみ、痛みに共感する心

患者さんに慰めの手、いたわりの手が自然に出る心

患者さんのために尽くす心

患者さんに真実を伝えて納得同意を得るように努める心

外来診療一覧表

平成28年8月現在

		診療科目	月	火	水	木	金	受付時間
一般外来		脳神経外科	植村・等			植村・等		7:30～11:30 ※急患については24時間対応
		外　　科		原田・吉仲・髙田			原田・吉仲・髙田	
		整形外科	大江・堀内		堀内・前川		大江・山田	
		循環器科	境野		境野・中村		境野	
		消化器内科			坂井	平岡・松下		
		代謝内科	平島		古賀	平島		
		放射線科		横山				
		泌尿器科	山中	脊川				
		呼吸器内科	※ 平成28年7月1日より横山による診療は休診中					
	小児科外来	小　児　科	塵岡 柳邊	小原	塵岡 小原	柳邊	塵岡 小原	8:00～11:30 13:45～16:00 ※急患については24時間対応
	特殊外来	呼吸器内科	毎週　金曜日［9:00～15:00］済生会より					8:00～11:30 予約制
		神経内科	月　4　回　土曜日					
		リウマチ膠原病科	月1～2回　土曜日					
		消化器内科	月　2　回　土曜日					
		パーキンソン外来	月　1　回　土曜日（再診のみ）　後藤					

当センターへのご案内図



敷地内配置図

天草地域医療センター

当センター敷地内での事故等については、病院は一切責任を負いかねますので、車両の通行・駐車に際しては、くれぐれもご注意下さい。



一般社団法人　天草郡市医師会立
天草地域医療センター
院長　原田　和則
〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854番地1
TEL 0969-24-4111（代表）
FAX 0969-23-4086　URL http://www.amed.jp



今年も元気に踊りきりました！



ごあいさつ

院　長　原田　和則

医療センターの裏山に降りそそいでいた蝉時雨も落ちついて、少しずつ秋への気配を感じさせてくれています。今年は新年度早々に、熊本地震という大災害に直撃され、県下にはおおきな被害がもたらされました。とくに熊本、阿蘇地域では医療環境へのダメージも大きく、救急医療、避難住民への医療活動、一般診療への復帰など大変な試練の年となっております。幸いなことに当天草医療圏では甚大な被害はなく、天草郡市医師会からは当院を中心にJMAT（日本医師会災害医療チーム）を組織し、地震直後から1ヵ月の間ほぼ連日熊本益城の被災地に赴き、現場の災害医療のお手伝いをさせてもらいました。天草医療圏は唯一の架橋である「天草五橋」のみで県央との陸路が保たれている地域です。このような地域の特殊性を考えますと、天草で同様の災害が発生した場合には、陸路は完全に断たれてしまいます。今回JMATで医療救護活動の支援をしながらも、この被災地の状況が天草の地で起こっていたらと想像しただけで、空恐ろしくさえ思えました。今回の災害を教訓とさせていただいて、地域住民の健康といのちをまもるという当院に課せられた使命のため、日頃からの危機管理と全職員のスキルアップの重要性をさらに再認識し肝に銘じた次第です。

天草本渡地区では今年の夏も「天草ほんどハイヤ祭り」が開催されました。12,000発の花火が夜空に舞い、8月6日のハイライトでは「天草ハイヤ道中総踊り」が 街中を練り歩き、復興を祈りつつ猛暑を吹き飛ばしてくれました。医療センターからも例年100名を超えるチームで威勢良く参加させてもらっております。職員が自発的に振付や仮装のコスチュームなどを考案して、それぞれの業種や部署間を越えて企画・練習し、大きな連帯感をもって挑戦してくれています。わたしも例年楽しく参加しておりますが、とくに嬉しいのは、医師も10数名（常勤医の1/3以上）が参加してくれていたことです。家族連れでの参加も数組みられました。たかが祭りの参加と言われるかも知れませんが、病院内の色んな職種の職員たちが熱い心を持って、一体となってくれてこそ、病院全体の連帯感も培われていくのだと感謝しています。わたしは常々、職員1人1人のモチベーションの維持・高揚を大切にしていくことが、病院全体の意識改革や組織の発展に不可欠であり、結果として地域の方々の健康としあわせにつながっていくと確信しております。



医療と介護の領域には多くの問題が山積みです。少子高齢化のなか、在宅医療や介護などを包括したより良い地域社会の構築が意図されていますし、熊本では地震災害からの復興も加わって大変な時期が続くと予想されます。とくに天草のような地域では、遠隔地医療として取り組むべき課題も多い状況ではありますが、それはそれとして明るく前向きに進んでまいります。お陰様で当院は「基幹型の臨床研修病院」として認可されております。喜ばしいことに平成29年度医学部卒業予定の学生で、是非に当院で初期研修したいとの申し出が定員（4名）を越える勢いです。当院の臨床研修の特徴は、研修医を単独診療科のみではなく、全診療科一体となって教育することを基本方針としており、実際の診療においても各診療科の協力体制が極めて良好で、つねに「地域完結型医療」を原則として実践してきています。その意味でも「総合診療医」育成としての初期臨床教育の場として選んでもらえたのでは思っています。高齢化率が30％を越える超高齢化地域であり、これからの2025年問題に代表される地域医療の抱える医療福祉問題を既に実践診療しており、これからの医療を担う医師の初期研修病院として役立てればと願っています。

今後もみなさまにやさしく愛される、質の高い医療を提供出来る施設として、天草の地方創生にも貢献させていただく覚悟です。よりいっそうのご支援よろしくお願い申し上げます。



◆診療科のご案内

脳神経外科

脳神経外科は植村総院長、等、竹島の3名で診療にあたっております。脳神経外科疾患は、脳内出血、脳梗塞、頭部外傷など救急医療を要する疾患が多くを占めていますが、救急医療に対しては、常に緊急手術や脳梗塞に対するt-PA治療が行えるよう取り組んでおります。ほかにも脳腫瘍や機能的疾患、頚椎症に対しても手術を行っております。

超高齢の患者さんや、状態の厳しい患者さんも増加しておりますが、諦めない医療を心がけております。『天草全土の急性期脳疾患患者は全て当科で診る。』をモットーに24時間、365日、対応できる体制をとっております。

特別な治療(脳血管内手術)を要する場合は熊本大学と連携を、また特殊な神経疾患(変性疾患)に対しても神経内科専門施設と連携をとり治療を行う支援体制が整っております。各種学会活動にも積極的に参加して、最新の治療法の取得や学会発表を行ったり、また定期的に近隣の医療機関の医師と神経放射線カンファレンスを行い、症例検討を行うことで、常に高品質の医療を患者様に提供出来るよう努力しております。



総院長
植村　正三郎
(S46年卒)



脳神経外科部長
等　泰之
(H2年卒)



脳神経外科医師
竹島　裕貴
(H25年卒)

外　科

院長以下6名のスタッフで消化器外科(食道、胃、大腸、肝･胆･膵疾患)、呼吸器外科(肺癌、気胸など)、内分泌外科(乳腺、甲状腺など)、一般外科(ヘルニアなど)救急外科(交通外傷など)など多領域にわたり外科全般の診療を行っております。近年は400件程度の手術症例で平成27年度は426件でした。当院は熊本県指定のがん診療連携拠点病院でもあり、癌手術は154件で食道癌、胃癌、大腸癌、乳癌、甲状腺癌、肺癌などの他に肝･胆･膵領域癌の手術も23例ほどありました。平成26年度からは腹腔鏡下手術も本格的に導入し悪性腫瘍では早期胃癌、大腸癌などを中心に、また良性疾患では胆石･癒着性イレウス･ヘルニアなどに対して行っております。

癌の診療は外科治療に限らず、化学療法や緩和医療にも力を入れています。外来棟の2階に広くゆったりとした外来化学療法室を設け、快適な環境で行えるようになっています。

開放型の病院としては、患者さんに最良の治療ができるように医師会の先生方としっかりとした連携を維持できるように努力しています。また、より気軽に相談していただき、顔が見える関係が築けるように月1回程度の消化器症例検討会を計画中です。

外科手術の36%は緊急手術であり内視鏡(GF、CF、ERCP)や超音波(乳腺･甲状腺、腹部)なども消化器内科と連携しながら頑張っています。

毎週木曜日には消化器内科と、隔週水曜日には放射線科と合同カンファレンスを行い手術症例などについて検討を行っています。また外科の病棟並びに術前カンファレンスを毎週木曜日に行っています。

天草地域の特徴としてご高齢の患者さんが多く、相互理解、信頼を重視しながらもそれぞれの患者さんの病態に応じた最良の治療法を選択するように引き続き心がけて日夜努力しています。



院　長
原田　和則
(S50年卒)



副院長
吉仲　一郎
(S57年卒)



診療部長
高田　登
(S60年卒)



外科部長
外山 栄一郎
(H1年卒)



外科医師
坂田　和也
(H19年卒)



外科医師
坂本　悠樹
(H24年卒)

整形外科

現在４名のスタッフで日常診療にあたらせてもらっております。(月)(水)(金)の午前中を通常外来と定め、定期の手術日は(木)ですが、他科の手術が入ってない時間を選び随時行っています。

手術症例は現在年間600例前後で推移しています。高齢者の大腿骨転子部、頸部骨折、各種外傷の治療から股関節、膝関節等の変性疾患に対して人工関節置換術を行い除痛をはかる等多岐に渡る手術を行っています。特に高齢者の大腿骨近位部骨折に関しては、麻酔科の先生のご理解もいただき準緊急手術と位置付け観血的加療を積極的に行っています。脊椎外科に関して当院では、頸椎は脳外科で行っていますが、当科で扱うべき胸腰椎の手術は専門医が不在と言う問題もあり、熊本市内や八代市の同門専門医の先生方へお願いしているのが現状です。患者さんや御家族、また同門の先生方へ、御迷惑をおかけして申し訳ありません。

救急や緊急手術に対して休日でも24時間対応出来るように常時２人体制でローテーションを組んで対応しています。

整形外科の取り扱う疾患は多岐に渡りますが、地域の先生方との連結を大切に迅速な対応を心掛けております。外来時間外は、スタッフの調整行い患者さんの診療に当たるため電話連絡を頂けると助かります。今後ともよろしくお願いします。



整形外科部長
大江　浩一郎
(H4年卒)



整形外科副部長
堀内　秀俊
(H11年卒)



整形外科医師
山田　正寿
(H13年卒)



整形外科医師
前川　剛士
(H15年卒)

消化器内科

消化器内科は、土曜日特殊外来として、熊本大学消化器内科から非常勤の派遣が始まり、現在も月2回でありますが、特殊外来を継続してもらい、平成21年4月より常勤医としても診療を行っています。1年目は2人体制でしたが、平成22年からは3人体制となり、平成28年より、一時的ではありますが、4人体制で診療させていただいています。診療内容は、消化器疾患を外科と連携し行っています。

消化管は、上下部内視鏡検査･NBI拡大内視鏡検査により食道癌、胃癌、大腸癌、腺腫、胃十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患等の診断並びに治療を行っています。大腸ポリープ切除や早期の食道癌･胃癌･大腸癌に対しては内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)や内視鏡的粘膜切除術(EMR)などの内視鏡的治療を行っています。食道静脈瘤に対し内視鏡的硬化療法(EIS)や内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)を行っています。

肝疾患については、C型慢性肝炎に対し従来のインターフェロン治療や副作用が少なく、90%以上で治療のできる、現在主流となっている経口薬による抗ウイルス療法を始め、B型慢性肝炎はインターフェロン療法や、核酸アナログ製剤による治療、肝細胞癌に対し診断や治療(分子標的治療薬(ソラフェニブ)や肝動脈塞栓療法(TAE))を放射線科と協力し行っています。その他にも、特殊な自己免疫性肝炎や原発性胆汁性肝硬変なども診療しています。

胆道･膵疾患に対しては、内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)を行い、膵癌や胆道癌の診断、内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)をおこない、採石術や減黄術も行っています。経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)、メタリックステント留置術も行っています。

以上のように、消化器疾患を全般的に行っています。外科とも密接な連携をとることで、患者様が、より安全に、そして、より安心して治療を受けて頂けるよう心がけ、頑張っていきますので、これからもよろしくお願い致します。



消化器内科部長
坂井　良成
(H14年卒)



消化器内科医師
平岡　昌晃
(H16年卒)



消化器内科医師
松下　寛
(H23年卒)



消化器内科医師
田山 紗代子
(H25年卒)

麻 酔 科



麻酔科部長
増田　和之
(S58年卒)



麻酔科副部長
寺崎　秀平
(H18年卒)

当院麻酔科は平成22年度に1人体制になって以降、常勤医1人と熊本大学からの派遣医1名で手術麻酔を行ってきました。現在までのところ麻酔科管理症例は3人体制の時と比べ件数を減らすことなく、また24時間365日緊急手術に対応できる体制も維持できています。しかしながらマンパワーの不足は深刻で、ペインクリニックは閉鎖中ですし、思うように手術の予定が組めないときもあるなどご迷惑をおかけしているところでした。

そういった状況でありましたが、今年8月よりついに常勤医が1人増えて2人体制となりました。これからは今まで以上に天草の医療に貢献できるよう力を尽くそうと思います。

天草の皆さんが、安心して手術を受けられるように安全かつ苦痛の少ない麻酔を行うように心がけています。

泌尿器科

当院泌尿器科は2人体制で、泌尿器科全般と血液浄化療法を担当しております。泌尿器科手術は膀胱癌や前立腺肥大症、尿路結石に対する経尿道的内視鏡手術、前立腺癌や膀胱癌などに対する開腹手術を行っております。腎・副腎に対しては腹腔鏡手術を施行しており、非常に小さな創で疼痛も少なく、術後の回復も早くなっております。平成27年度の手術件数は227件で年々増加傾向にあります。その他に前立腺癌疑いに対する前立腺針生検も行っております。

透析関係では内シャント造設術や人工血管留置術だけでなく、シャント狭窄・閉塞に対するPTAも行っております。血液浄化療法は当院が急性期病院であるため、透析導入やCHDF、エンドトキシン吸着などの急性血液浄化を主に行っております。



泌尿器科部長
脊川　卓也
(H19年卒)



泌尿器科医師
山中 広太郎
(H23年卒)

循環器科

【施設認定】
- ●日本循環器学会認定研修施設
- ●日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設

【主な診療内容】
- ●外来診療：月、水、金　午前中(受付午前7時30分～午前11時30分)　※急患は常時対応
- ●心臓カテーテル検査、治療：火、木曜日　※急患は常時対応
  (PCI. PTA. カテーテルアブレーション治療など)
- ●ペースメーカー植え込み：曜日指定なし
- ●ペースメーカー外来：毎月第2水曜日(受付：午後0～3時)

【モットー】
- ●患者さん個々の病態、背景に合った、最良の医療の提供を心がけています。
- ●最先端、最新の医療知識、技術の習得を心がけています。
- ●救急患者さんへの迅速・的確な診療を心がけています。



境野　成次
(副院長・循環器科部長)
S57年熊大医卒.医学博士.
日本循環器学会専門医．内科専門医、認定医．日本心血管インターベンション治療学会専門医、認定医.



中村　尚太
(循環器科副部長)
H5年熊大医卒.医学博士.
日本循環器学会専門医.内科認定医.日本心血管インターベンション治療学会専門医、認定医.



山永　健之
(循環器科医師)
H19年熊大医卒.医学博士.
内科認定医.

代謝内科

代謝内科は、平成6年4月から城谷哲也医師が外来診察を開始し、平成8年4月から佐藤佳宏医師が常勤医師となりました。平成15年11月から私が赴任し、平成26年に古賀直子医師が赴任して2人体制となりました。

外来は、月、水、木です。当科では内分泌疾患全般、糖尿病全般の診断・治療を行っています。糖尿病は正しい知識を習得し、個人にあった適切な食事と運動を行うことが、最も大切です。外来では、糖尿病認定看護師や糖尿病療養指導士による、糖尿病療養指導カードを使った糖尿病の指導、フットケアを行っています。糖尿病の知識が豊富な管理栄養士による、個別栄養指導を行っています。また、理学療法士による糖尿病の運動指導も行っています。妊娠糖尿病の指導や外来でのインスリン導入も行っています。

糖尿病教育入院は1週間コース、2週間コース、小児糖尿病コースがありますが、個人の病態や能力に応じたテーラーメイドの治療を行っています。インスリンポンプの導入は、原則として入院で行います。

月に1回糖尿病教室を開催しています。カンバセーションマップやお花見など参加型の教室も開いています。その他にも、天草地域に貢献するため、以下の様なイベントを開催しています。

- ・毎年2月に、市民講座を開いています。
- ・毎年6月の天草市の健康フェスタでは血糖測定と健康相談をしています。
- ・毎年10月に糖尿病ウォークラリーを開催します。2016年は崎津です。
- ・毎年11月の糖尿病週間に天草キリシタン館をブルーライトアップしています。
- ・毎年11月頃に多職種連携のグループワークを開いています。
- ・随時、無料出前講座を開き、老人会、婦人会、企業の健康講座に出張しています。
- ・随時、全国の有名な講師を招き生活習慣病に関する話をして頂きます。
- ・今年は天草地域糖尿病療養指導士と一緒に、新しい企画に取り組んでいます。



代謝内科部長
平島　義彰
(H8年卒)



代謝内科医師
古賀　直子
(H9年卒)

呼吸器内科

平成27年4月より常勤医師1名による診療を開始致しました。平成25年7月より毎週金曜日に済生会熊本病院呼吸器センターの先生方による呼吸器外来を行っていただいており、今後もご協力いただきながら診療を進めていきたいと思います。

外来診療は毎週火曜・木曜日、原則午前11時30分までですが、急患はこの限りではありません。対象となる疾患としては

①肺炎・非結核性抗酸菌症・肺真菌症などの呼吸器感染症　②気管支喘息
③慢性閉塞性肺疾患　④間質性肺炎　⑤急性・慢性呼吸不全

…などを中心に診療を行っています。

肺癌に関しては、週1回の気管支鏡検査およびCTガイド下肺生検(当院放射線科医師と連携します)による確定診断および病期分類まで行い、手術などの治療に関しては当院外科にお願いする方針としております。入院加療も他科の先生方と連携しながら行っております。

急患に関してもできるだけ対応させて頂きたいと存じますが、子育てと両立しながらの勤務のため平日午前9時から午後5時までの診療とさせていただいております。大変申し訳ありませんが、ご紹介のご連絡は可能な限り午前中にお願いいただけると助かります。

天草地域の呼吸器疾患の患者様の治療に少しでも貢献できるよう努力いたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。



呼吸器内科医長
横山　晃子
(H19年卒)

平成28年7月1日より診療は休診中

放射線科

放射線科では、多種多様の医療機器および検査技術を用いた診断およびIVR治療などを行っています。平成27年度の検査実績は、CT検査が10133件、MRI検査が3827件でした。また、当科で行ったIVR治療は、96件でした。

・CT検査

CTとは、コンピューター断層撮影法（Computed Tomography）の略です。X線を照射し、通過したX線量の差をデータとして集め、コンピューターで処理することによって身体の内部を画像化することができます。画像は、輪切りの画像のみでなく、任意の断面も再構成することが可能であり、臨床のニーズに合った画像を提供しています。また、当院では被爆低減、造影剤減量に早くから取り組み、より患者さんに優しい検査を目指して日々の検査を行っております。

・MRI検査

MRI（磁気共鳴画像装置）とはMagnetic Resonance Imagingの略で、非常に強い磁石と電波を利用して体の内部の状態を検査します。X線被曝することなく検査できます。また造影剤を用いずに血管を描出することが可能です。当院は九州で3番目にデジタルコイルを用いた3T MRIを導入した病院であり、共同研究契約を締結しているため、通常の病院ではできないような特殊な撮影法も可能になっています。

・IVR治療

当院では、血管内にカテーテルと呼ばれる細い管を挿入して診断・治療を行う血管内治療とCTや超音波画像を用いた生検、ドレナージなどの非血管内治療を行っています。血管内治療では、カテーテルから造影剤を用いて撮影し、目的とする病変部位を同定して、診断・治療を行います。当院では肝臓癌などに対する動注療法、化学塞栓療法などのほか、外傷による動脈性出血に対する止血術を行っています。非血管内治療では、肺癌などに対する肺生検や膿瘍ドレナージなどを行っています。

当院は256列MDCTおよびデジタルコイルを装備した3T MRIを導入しており、全国の一般病院でもトップクラスの設備を備えた施設であり、スタッフ一同、力を合わせて、質のよい検査、画像を提供し、迅速に結果をレポートできるように日々努力しています。


放射線科部長
吉田　守克
（H16年卒）


放射線科医師
横山　公一
（H19年卒）


放射線科医師
井上　泰平
（H24年卒）

小児科

3名のスタッフで日常診療を行っております。当科は天草医療圏の中核的な役割を担っており、救急疾患や慢性期疾患に対応しています。急性期疾患としては感染症、神経疾患（てんかん、熱性痙攣等）、腎疾患（学校検診、ネフローゼ等）、心疾患（先天性心疾患など）、内分泌疾患（低身長、クレチン症等）、血液実感（血小板減少性紫斑病、血有病等）、を診ており、慢性期疾患に関しては、糖尿病や在宅医療の必要な患児、NIGUからの児を主に診ております。当科は紹介型であるため地域の先生方のご協力によって成り立っており、大変感謝しております。天草小児医療の中心として期待に応えられるよう努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。


小児科部長
塵岡　健
（H16年卒）


小児科医師
柳邊　秀一
（H22年卒）


小児科医師
小原　隆史
（H24年卒）



検診センター


健診センター長
谷村　正憲
（S51年卒）

当センターは、平成14年に現在の健診センターを開設し、天草地域の保健活動の拠点となるべく、行政の行う健康増進法に基づく特定健診（メタボ健診）とがん検診を中心に健康診断や、医療保険者、事業所等による健康診断、人間ドックを実施しています。実施にあたっては天草地域医療センターの協力をえて、医療機関と同レベルの検査精度を保つ様努力しています。また講演会活動や糖尿病教室への参加等、保健予防活動にも積極的に参加することを旨としています。

平成27年度実績は下記のとおりです。

1.住民健診	巡回胸部健診	10,763名	3.事業所健診	生活習慣病予防健診	5,559名
	総合健診	2,101名		法定健診	2,044名
	各種検査	150名		各種検査	146名
	巡回大腸がん検診	1,510名	4.人間ドック	人間ドック受診者	1,929名
2.学校健診	腎臓健診	11,289名		・日帰りドック	1,209名
	巡回結核健診	1,510名		・宿泊ドック	720名
	血液検査	107名	5.特定保健指導医	特定保健指導	13名

原則として月曜日～金曜日に営業し、月に1回土曜日、日曜日にも営業しています。医師会の先生方にも医師国保ドックを利用していただいています。

◆非常勤特殊外来

呼吸器内科

●診療日：毎週金曜日［済生会熊本病院　呼吸器センターより］

●担　当：一門　和哉医師（H2年卒）・高木　誠医師（H17年卒）・江口　善友医師（H19年卒）・阿南　圭祐医師（H22年卒）

済生会熊本病院呼吸器センター医師が毎週金曜日にお伺いし、2013年7月から開始となった呼吸器内科外来も3年が過ぎようとしています。この3年間に、地域の先生方から本当に数多くの症例をご紹介いただき、大変に感謝いたしております。この呼吸器内科外来から、済生会熊本病院へ精査治療のため紹介入院になる症例数は年間約50症例にも及んでおります。

高齢化社会を反映し、肝癌、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、誤嚥性肺炎の今後益々の増加が予測されておりますが、この天草地域においても例外ではなく、とくに肺癌症例の多さを実感しております。エビデンスに基づき、患者さん毎に最適な検査治療を、天草地域医療センターの先生方と協力して、今後も行って参りますので、よろしく御願い致します。

2004年10月から発足した済生会熊本病院呼吸器センターは、2015年4月より体制が変わり、呼吸器外科3名（部長：吉岡正一　副院長兼任）と内科9名（部長：一門和哉）に分かれておりますが、これまで同様に共同での診療を行っております。重症呼吸不全症例、間質性肺疾患などの難治性疾患についても、日本呼吸器学会ガイドライン作成に関わっており、国内外の最新の知見に基づく診療を行っております。

当外来は、慢性呼吸器疾患の管理について、地域の先生方からのご相談にも対応させていただきますので、お気軽にご紹介いただければ幸いです。よろしく御願い申し上げます。

パーキンソン外来

●診療日：月1回／土曜日

●担　当：後藤　恵医師（S56年卒／徳島大学病院）

神経内科

●診療日：月4回／土曜日［熊本大学医学部附属病院］

●担　当：有馬　寿之医師（H7年卒）・松尾　圭将医師（H21年卒）・俵　望医師（H19年卒）・植田　明彦医師（H13年卒）

当院は、毎週土曜日（第5土曜日は休診）に神経内科医による外来予約診療を行っています。天草市内で神経内科の専門診療を行うことのできる数少ない病院の1つです。しかし、常勤ではないため、地域の先生方にはご迷惑をお掛けし、大変申し訳ありません。

当外来の重要な役割は、神経内科の専門外来として、パーキンソン病や多発性硬化症、脊髄小脳変性症といった神経難病の患者さんのfollow up です。また、地元の開業医の先生方からのご紹介により、頭痛やしびれ、手足の震え、脱力などの症状でお困りの患者さんの診察を行い、適切に対応することが当外来に求められているもうひとつの役割であると考えております。必要に応じ、熊本大学医学部附属病院への紹介を行ったり、開業医の先生方と連携を取りながら診療を行ったり、軽症であれば、開業医の先生に継続診療をお願いしたりと、限られた資源の中、患者さん本位のオーダーメイド診療を心がけております。

諸先生方のお陰で神経内科外来は大盛況で、ご紹介いただく先生方、患者さんには、大変ご迷惑をお掛けしていることと存じますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

リウマチ膠原病科

●診療日：月1～2回／土曜日

●担　当：中村　正医師（S55年卒／くまもと森都総合病院）

「リウマチ膠原病」とは聞きなれない病名ですが、免疫機構に異常を来たし発病する全身性の病気です。その代表が関節リウマチで、日本に約100万人の患者がおり、男女比は1対4、中年女性に好発します。関節破壊は関節を包んでいる滑膜の炎症で始まり、炎症性に滑膜が増殖し、軟骨・骨を破壊し、関節の変形を起こします。病変は当初は関節ですが、治療が上手くいかないと肺や腎臓、眼、皮膚、心臓など全身に及びます。関節の機能障害や全身合併症のために日常生活に支障を来たし、生活の質が低下、寿命も短くなります。かつて「治らない難病」と呼ばれていましたが治療法が大変革を遂げ、メトトレキサート生物学的製剤を用いることで、治療も期待できるようになりました。

関節リウマチ以外のリウマチ膠原病も診断や治療の面で進歩が見られ、このような医療の進歩を地域で等しく享受できるように、当センターで活動しています。

消化器内科

●診療日：月2回／土曜日［熊本大学医学部附属病院］

●担　当：吉丸　洋子医師（H14年卒）・瀬戸山　博子医師（H13年卒）

熊本大学附属病院消化器内科より派遣され、毎月第2土曜日と第4土曜日の午前中に勤務しております。肝臓疾患を専門とし、C型肝炎に対する抗ウイルス治療、B型肝炎に対する抗ウイルス治療、肝硬変の治療を主に行っております。また大学病院とも連携し肝臓癌の診療も行っております。熊本県は全国から見ても肝炎キャリアが多い地域です。C型肝炎、B型肝炎を放置するといずれは肝硬変、肝臓癌を発症します。まずは検診にてウイルスマーカーのチェックを行って頂き、もし陽性の場合は当科を受診されてください。キャリアの方を早期発見し、抗ウイルス治療など治療介入をすることで肝臓癌をきちんと予防することができます。また最近では脂肪肝の方でも一部の方が肝硬変に進展し、肝臓癌を発症することが知られております。検診で脂肪肝を指摘された方も是非、一度当科外来を受診されてください。天草地域の肝臓疾患の患者さんの診療に少しでも貢献できるようにこれからも頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。

異動のご挨拶

「お世話になりました」



消化器内科　**杉原　一明**医師

天草の陽光の下、4年間と長きに渡り御世話になりました。

日本の宝島、天草での生活は印象に残ることばかりでした。中でも景色の美しさ、住んでいる方々の素朴な人柄にはどれほど心を打たれたことでしょうか。昔ながらの景色がたくさん拡がる土地に育まれますと、自然と心も大らかに膨らんでいくのでしょう。この地に住むことが出来、働けましたことに心より感謝致します。ありがとうございました。



循環器科　**片山　哲治**医師

循環器科の片山です。2年間という短い間でしたが、大変御世話になりました。開業の先生方より多くの患者様を御紹介頂き、大変貴重な経験を多くすることができました。この経験を生かして、これからも頑張って参ります。またご縁がございましたら、宜しくお願い申し上げます。



外　　科　**大徳　暢哉**医師

天草地域医療センターの皆様、1年間お世話になりました。手術や病棟、外来、検査にとても忙しい日々でした。この文章を書いているのも3月31日の出発直前です(締め切りは25日でした、すみません)。忙しく余裕がない中でも、優しくご指導頂いた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。明日からは熊本地域医療センターでの勤務となります。天草での経験を生かして診療にあたりたいと思います。本当にありがとうございました。



脳神経外科　**森川　裕介**医師

昨年4月より天草地域医療センターで勤務をさせていただいておりました。脳神経外科の森川裕介です。

今年度の夏は昨年に比べれば比較的過ごしやすかったのですが、冬場は類を見ない豪雪と、2月からの寒暖の差が厳しいものに感じました。

しかし、総じて過ごしやすく、すばらしい風土の中で貴重な診療経験を積むことができ、天草での経験は大変貴重なものとなりました。

今年4月より熊本市内の病院へ異動となりますが、先輩医師だけでなく様々な方からのご指導、ご鞭撻大変ありがとうございました。

新任のご挨拶 「よろしくおねがいします」



循環器内科　山永　健之医師

2007年に熊本大学医学部を卒業し、福岡徳洲会病院、熊本大学医学部附属病院で勤務してきました。まだ、天草にきて1か月で不慣れなこともありますが、少しでも天草の地域医療に貢献できるように努めてまいります。初めのうちは皆さんにいろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、努力を重ね一歩一歩精進してくつもりでございますのでどうかご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科　松下　　寛 医師

消化器内科の松下です。この春から熊本労災病院より赴任いたしました。医者学年としては6年目になります。一番の趣味はサッカー観戦などですが、体を動かすことも 好きで す。　天草は父の出身地でもあり、年に一度は来ていました。何かのご縁と思い 天草の医療に携わっていきたいと考えております。まだまだ未熟者であり、何かとご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いいたします。



外　　科　坂本　悠樹 医師

2016年4月より天草地域医療センター　外科で勤務させて頂くことになりました、坂本悠樹と申します。2012年に大分大学を卒業し、熊本大学医学部附属病院、熊本地域医療センターで勤務してきました。生まれは小国なのですが中学時代から熊本を離れていたこともあり、天草には今回の赴任にあたりほとんど初めて足を踏み入れました。慣れないことだらけですが、天草地域医療センターの診療の一助となるべく精進していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



脳神経外科　竹島　裕貴医師

脳神経外科の竹島裕貴と申します。熊本大学医学部を卒業後、済生会熊本病院での2年間の初期研修を経て熊大脳外科に入局しました。現在、医師としては4年目になります。

今年の4月に赴任してきたばかりですが、職員の方々が温かく迎えてくださり、気持ちよく仕事できています。とてもありがたく思っています。しっかりと研鑽を積み、少しでも地域のお役に立てるよう日々精進しますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。また、天草は自然が豊かで食べ物がとても美味しいと伺っております。オフの時間も非常に楽しみにしています。今後ともよろしくお願いいたします。



消化器内科　田山紗代子医師

平成25年熊本大学医学部卒業、卒後4年目、消化器内科の田山と申します。生まれてこれまで28年間熊本市で生活してきて、今回異動となり初めて天草での勤務・生活に不安だらけでした。しかし、先生方やスタッフの方々に色々とアドバイスをいただき、早速楽しんで毎日を過ごさせていただいております。まだまだ若輩者でご迷惑をおかけすると思いますが、少しでも地域の皆様のお役 に 立 てるよう頑 張りた いと思 います の で 、どうぞよろしくお 願 い い た します。



薬剤師

山下　俊平

私は、ここ天草で生まれ育ちました。

社会人１年目で、まだ分からない事だらけですが、天草地域医療センターで

多くの事を学び、少しでも天草の医療に貢献できたらと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。



放射線技師

濱洲　雄希

初めまして。４月より放射線科で技

師として勤務することになりました。３月までは回復期の病院で勤務しており、急性期は初めてです。不慣れな点多々あると思いますが技術や知識だけでなく、医療人としてのスキルも高めて参りたいと思います。宜しくお願いします。



放射線技師

本郷　理佳

熊本市内出身で今年鹿児島の学校を卒業しました。天草に住むのは初めてですが、様々な場所に行ってみたいと思っています。未熟者ではありますが、一日も早く天草の医療に貢献出来るよう頑張ります。



臨床検査技師

早川　知里



理学療法士

荒川　栄人

今年の４月から検査部に所属してい ７年間福岡県の病院で働いていまし ます。検査結果の小さな変化を見逃さ た。今回、地元である天草で働ける ず、早期発見、早期治療に貢献でき ことを大変嬉しく思っています。理 る臨床検査技師を目指す所存です。 学療法士として地域での医療に少し 未熟者ですが、どうぞよろしくお願 でも貢献できるよう尽力していきた い致します。 いと思います。



理学療法士

竹森　大祐

天草出身で今回縁があり、天草へ戻ってきました。理学療法士としては２年目で、まだまだ勉強中ですが、積極的に患者様と関わり、一人一人に寄り添ったリハビリを提供出来るように頑張りたいと思います。



作業療法士

龍官　永美

４月から作業療法士として働かせて頂くことになりました。１年目でまだまだ未熟ですが患者様の心に寄り添うことの出来る作業療法士になるために一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



管理栄養士

河西　俊子

この度、栄養管理部で働かせて頂くことになりました。まだまだ、不慣れなことが多く、何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、天草の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



臨床工学技士

木口　敦

大阪の専門学校を卒業しました。五和町出身で天草の環境が好きで帰ってくることを決意しました。早く仕事に慣れるように頑張ります。よろしくお願いします。



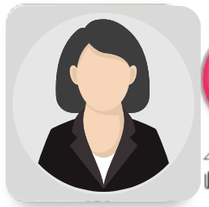
診療情報管理士

高浜久美子

地元は熊本市内で天草での生活は分からないことばかりですが充実した毎日を送っています。御迷惑おかけすることも多いと思いますが、皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

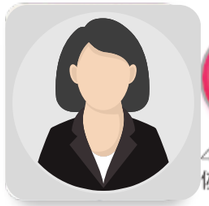


看護師・准看護師



看護師
4階北病棟
嶋田　香代

スタッフの方々との信頼関係の構築に努め、まずは病棟に少しでも早く慣れるよう、そして忙しい中でも笑顔を忘れずに頑張っていきたいと思います。



看護師
4階南病棟
佐々木志央理

4階南病棟に配属になりました。看護師2年目で不安がありますが、優しい先輩方に助けられています。天草という地元で働けることが幸せです。日々、努力し、一人前の看護師になりたいです。宜しくお願いします。



看護師
3階南病棟
大野　　恵

多くの患者様と関わる中で、それぞれの患者様やご家族の思いに少しでも寄り添えるように、看護師としてこれまでに学んできた知識や技術を高める努力をしていきたいと思います。



看護師
3階北病棟
髙松　美緒

看護師として多くの知識・技術を身につけ看護を提供出来るよう努めていきます。先輩方のように患者さん、ご家族から信頼され笑顔の絶えない看護師になりたいです。よろしくお願いします。



看護師
3階南病棟
田口　優佳

日々、学ぶ事が多く緊張の毎日ですが、安心・安全な医療が提供できるよう頑張りたいと思います。出会いを大切にし、患者様に笑顔で退院して頂けるよう、自身も笑顔を忘れず業務に取り組んでいきたいと思います。



看護師
3階北病棟
濵﨑　智子

天草の地域医療に貢献したいと思い、この職場に就職しました。覚える事が多く勉強が大変ですが、優しい先輩方に囲まれ楽しく仕事をしています。優しく、温かい看護が提供出来るよう頑張りたいです。



看護師
4階北病棟
本多貴利菜

私は学生の頃から天草地域医療センターでお世話になっておりました。思いやりのある看護師を目指して頑張ります。慣れない事も多く、ご迷惑をおかけしますが、ご指導よろしくお願いします。



看護師
4階南病棟
木村　美加

私は、天草で准看護師を取得し、熊本市医師会看護専門学校へ行きました。知識・技術ともに未熟ですが、先輩方のご指導の下、一つ一つ確実に身につけていきたいと思います。よろしくお願いします。



准看護師
2階病棟
猪原　知香

この度、2階病棟に配属になりました。日々、勉強の身でありご迷惑をおかけすると思いますが、持ち前の明るさで患者様とご家族様に「この人で良かった」と思っていただけるよう努力していきたいと思います。

患者様の立場に立った
温かい看護に努めます!





天草ハイヤ道中総踊り

8/6(土)





今年も、医療センターから「天草ハイヤ道中総踊り」に参加させて頂きました。毎年、振付や趣向を凝らした仮装のコスチュームを職員自ら考え、沿道で声援を送って下さる皆様に大変喜んで頂いております。今回の仮装は、一日も早い復興が願われる熊本城や熊本が誇る名将加藤清正公、そして、今、何かと話題のポケモンのキャラクターなど、バラエティーに富んだものになりました。今年は熊本・大分地震という未曾有の災害に見舞われ、このハイヤ踊りの開催も心配されましたが、無事に開催される事となり嬉しく思います。こんな時だからこそ職員一丸となり、一日も早い復興を祈りつつ一所懸命に踊り明かした夜になりました。















編集後記

毎日毎日、身体にこたえる猛暑が続きますが皆様お変わりはございませんか？

4月の未曾有の大地震から早くも4カ月が経とうとしております。地震直後の約1カ月、天草郡市医師会からは当院を中心にJMAT（日本医師会災害医療チーム）を組織し、被災地での災害医療のお手伝いをさせてもらいました。当院があります地域は、県内の中でも比較的被害が少ない地域でした。ですが…あの時、熊本県内で起きた出来事は、今までに経験のしたことのない悲しい記憶として私たちの中に残っております。当院でも災害時の危機管理等について、職員全員があらためて深く考える機会になりました。復興への道のりは平坦ではなく、まだまだ時間がかかるでしょうが、一歩一歩確実に前へ進んで行く事を願っております。

この猛暑の日々は、まだしばらくは続きそうです。皆様くれぐれもご自愛下さいませ。

文責：新聞広報委員　清田　千草